

平成 22 年度当初予算 施策別概要

5 4 1 快適な都市環境の整備

(主担当部：県土整備部)

- 54101 安全で快適なまちづくり (県土整備部)
- 54102 清潔で快適な都市環境づくり (県土整備部)
- 54103 潤いある都市空間の整備 (県土整備部)
- 54104 計画的なまちづくりの推進 (県土整備部)
- 54105 ユニバーサルデザインのまちづくりへの整備 (健康福祉部)

< 施策の目的 >

(対象) 県民が

(意図) 快適で、個性と魅力のあるまちで、伸び伸びと活動し、安心して暮らしている

< 施策の数値目標 > 21 年度実績値は 1 月末現在で把握できる見込み値を示しています。

| 施策目標項目 (主指標) | | H18 年度 | H19 年度 | H20 年度 | H21 年度 | H22 年度 |
|----------------|-----|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 市街地の都市計画道路改良率 | 目標値 | - | 60.4% (H18) | 61.0% (H19) | 61.5% (H20) | 62.0% (H21) |
| | 実績値 | 59.7% (H17) | 60.0% (H18) | 60.5% (H19) | 60.8% (H20) | |

県内の市街地 (用途地域内) における都市計画道路の改良率

| 県の取組目標項目 (副指標) | | H18 年度 | H19 年度 | H20 年度 | H21 年度 | H22 年度 |
|-----------------------|-----|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 下水道普及率 | 目標値 | - | 42.0% | 44.0% | 46.0% | 48.0% |
| | 実績値 | 40.1% | 42.2% | 43.7% | | |
| 都市計画区域内人口一人あたりの都市公園面積 | 目標値 | - | 8.92 m ² / 人 | 9.03 m ² / 人 | 9.24 m ² / 人 | 9.27 m ² / 人 |
| | 実績値 | 8.64 m ² / 人 | 8.79 m ² / 人 | 9.22 m ² / 人 | | |

< 進捗状況 (現状と課題) >

- ・ 三重県の都市基盤施設 (街路、下水道、都市公園) の整備状況は全国平均に比べ遅れており、基盤整備を計画的に進めていく必要があります。
- ・ 人口減少・少子高齢社会の到来、環境問題等への対応の観点から、今後の都市づくりの方向としては、都市基盤施設や公共交通機関などの既存ストックを活用し、集約型都市構造の形成 (コンパクトなまちづくり) を進めていく必要があります。この方向をより明確に位置づけるため、都市計画区域マスタープランの改定に向け最終案の策定を進めています。
- ・ 三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進条例及び高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の整備基準を事業者や設計者に周知するとともに、駅舎のエレベーター設置等のバリアフリー化事業の支援を進めています。不特定多数の人が利用する施設を、誰もが安全で快適に利用できるような環境整備を継続していくことが重要です。

<平成22年度の取組方向>

市街地の分断や踏切渋滞の解消をはかるため、連続立体交差事業をはじめとする鉄道と街路との立体交差化を行う事業に重点的に取り組みます。また、緊急輸送道路の整備や歩道のバリアフリー化、無電柱化を進めます。

流域下水道事業については、関連市町の整備と整合をはかりながら、流末処理場の施設等の整備を進めます。

都市公園については、地域の豊かな自然や観光資源を生かしつつ、着実に整備を進めます。また、指定管理者制度を活用し、引き続き、効率的な管理運営とサービス向上をはかります。

広域的なバランスに配慮しつつ地域が主体となった個性あるまちづくりが進められるよう、市町や関係機関と十分調整をはかりながら、都市計画区域マスタープランを改定します。

三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進条例等に基づく整備が進むよう、引き続き整備基準の周知徹底をはかります。

<主な事業>

(一部重・一部舞)街路事業【基本事業名：54101 安全で快適なまちづくり】

(第8款 土木費 第5項 都市計画費 3街路事業費)

予算額：(21) 1,740,500千円 (22) 1,923,000千円

(1,750,500千円 2,440,000千円

2月補正含みベース)

事業概要：鉄道との立体交差化、緊急輸送道路の整備、電線類の地中化などにより、都市内交通の円滑化や防災機能の強化などをはかります。

流域下水道事業【基本事業名：54102 清潔で快適な都市環境づくり】

(流域下水道事業特別会計 第1款 流域下水道事業費

第1項 流域下水道事業費 2流域下水道建設費)

予算額：(21) 9,071,800千円 (22) 8,261,300千円

事業概要：公共用水域の水質保全と生活環境の改善をはかるため、流域下水道の整備を推進します。

国補公園事業【基本事業名：54103 潤いある都市空間の整備】

(第8款 土木費 第5項 都市計画費 4公園費)

予算額：(21) 423,000千円 (22) 411,000千円

事業概要：北勢中央公園、熊野灘臨海公園の整備を進めます。

(一部舞)都市計画策定事業【基本事業名：54104 計画的なまちづくりの推進】

(第8款 土木費 第5項 都市計画費 1都市計画総務費)

予算額：(21) 14,609千円 (22) 12,454千円

事業概要：集約型都市構造の形成に向け、都市計画区域マスタープランを改定します。